

水質検査結果表

2025年9月19日

秩父別町長 澁谷 信人 様

秩父別町簡易水道

採水場所：秩父別町役場 給水栓
採水者：秩父別町役場建設課 吉田 悟
採水日時：9月10日 10時30分
天 候：晴れ
試料の運搬：日本衛生(株)、車両
試験目的：簡易水道水質検査
検査日時：9月10日 17時00分 ～ 9月19日 9時25分

国土交通省・環境省 登録番号 第165号
札幌市清田区平岡1条1丁目1番40号
電話 代表(011)888-0122 Fax(011)888-0414
日本衛生株式会社
代表取締役 山本 秀雄

気 温： 25 ℃
水 温： 18 ℃
残留塩素： 0.47 mg/L

2025年9月10日に受託した上記試料の検査結果は次のとおりです。

No.	項 目	検 査 結 果	No.	項 目	検 査 結 果
1	一般細菌	0 CFU/mL	27	総トリハロメタン	0.0106 mg/L
2	大腸菌	不検出	28	トリクロロ酢酸	< 0.003 mg/L
3	カドミウム及びその化合物	< 0.0003 mg/L	29	ブロモジクロロメタン	0.0040 mg/L
4	水銀及びその化合物	< 0.00005 mg/L	30	ブロモホルム	0.0003 mg/L
5	セレン及びその化合物	< 0.001 mg/L	31	ホルムアルデヒド	< 0.008 mg/L
6	鉛及びその化合物	< 0.001 mg/L	32	亜鉛及びその化合物	< 0.01 mg/L
7	ヒ素及びその化合物	< 0.001 mg/L	33	アルミニウム及びその化合物	< 0.01 mg/L
8	六価クロム化合物	< 0.001 mg/L	34	鉄及びその化合物	< 0.01 mg/L
9	亜硝酸態窒素	< 0.004 mg/L	35	銅及びその化合物	< 0.01 mg/L
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	< 0.001 mg/L	36	ナトリウム及びその化合物	12 mg/L
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	< 0.5 mg/L	37	マンガン及びその化合物	< 0.001 mg/L
12	フッ素及びその化合物	< 0.08 mg/L	38	塩化物イオン	12.5 mg/L
13	ホウ素及びその化合物	0.03 mg/L	39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	30 mg/L
14	四塩化炭素	< 0.0002 mg/L	40	蒸発残留物	51 mg/L
15	1,4-ジオキサン	< 0.005 mg/L	41	陰イオン界面活性剤	< 0.02 mg/L
16	シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	< 0.0004 mg/L	42	ジェオスミン	< 0.000001 mg/L
17	ジクロロメタン	< 0.0002 mg/L	43	2-メチルイソボルネオール	< 0.000001 mg/L
18	テトラクロロエチレン	< 0.0002 mg/L	44	非イオン界面活性剤	< 0.002 mg/L
19	トリクロロエチレン	< 0.0002 mg/L	45	フェノール類	< 0.0005 mg/L
20	ベンゼン	< 0.0002 mg/L	46	有機物(全有機炭素TOCの量)	0.9 mg/L
21	塩素酸	0.07 mg/L	47	pH値	7.1
22	クロロ酢酸	< 0.002 mg/L	48	味	異常なし
23	クロロホルム	0.0043 mg/L	49	臭気	異常なし
24	ジクロロ酢酸	0.003 mg/L	50	色度	< 0.5 度
25	ジブロモクロロメタン	0.0020 mg/L	51	濁度	< 0.1 度
26	臭素酸	< 0.001 mg/L			

判定 上記検査項目については水質基準に適合します。

水質検査部門責任者：藤田 哲哉



水道法に基づく水質基準及び検査の方法

No.	項目	水質基準値	検査の方法(平成15年7月22日厚生労働省告示261号)
1	一般細菌	100 CFU/mL 以下	別表第1 標準寒天培地法
2	大腸菌	検出されないこと	別表第2 特定酵素基質培地法
3	カドミウム及びその化合物	0.003 mg/L 以下	別表第6 誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析
4	水銀及びその化合物	0.0005 mg/L 以下	別表第7 還元気化-原子吸光光度法
5	セレン及びその化合物	0.01 mg/L 以下	別表第6 誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析
6	鉛及びその化合物	0.01 mg/L 以下	別表第6 誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析
7	ヒ素及びその化合物	0.01 mg/L 以下	別表第6 誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析
8	六価クロム化合物	0.02 mg/L 以下	別表第6 誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析
9	亜硝酸態窒素	0.04 mg/L 以下	別表第13 イオンクロマトグラフ(陰イオン)による一斉分析法
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01 mg/L 以下	別表第12 イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光光度法
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10 mg/L 以下	別表第13 イオンクロマトグラフ(陰イオン)による一斉分析法
12	フッ素及びその化合物	0.8 mg/L 以下	別表第13 イオンクロマトグラフ(陰イオン)による一斉分析法
13	ホウ素及びその化合物	1.0 mg/L 以下	別表第5 誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析
14	四塩化炭素	0.002 mg/L 以下	別表第14 パージトラップ-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
15	1,4-ジオキサン	0.05 mg/L 以下	別表第14 パージトラップ-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
16	シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L 以下	別表第14 パージトラップ-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
17	ジクロロメタン	0.02 mg/L 以下	別表第14 パージトラップ-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
18	テトラクロロエチレン	0.01 mg/L 以下	別表第14 パージトラップ-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
19	トリクロロエチレン	0.01 mg/L 以下	別表第14 パージトラップ-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
20	ベンゼン	0.01 mg/L 以下	別表第14 パージトラップ-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
21	塩素酸	0.6 mg/L 以下	別表第13 イオンクロマトグラフ(陰イオン)による一斉分析法
22	クロロ酢酸	0.02 mg/L 以下	別表第17の2 液体クロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
23	クロロホルム	0.06 mg/L 以下	別表第14 パージトラップ-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
24	ジクロロ酢酸	0.03 mg/L 以下	別表第17の2 液体クロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
25	ジブロモクロロメタン	0.1 mg/L 以下	別表第14 パージトラップ-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
26	臭素酸	0.01 mg/L 以下	別表第18の1 イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光光度法
27	総トリハロメタン	0.1 mg/L 以下	別表第14 パージトラップ-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
28	トリクロロ酢酸	0.03 mg/L 以下	別表第17の2 液体クロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
29	ブロモジクロロメタン	0.03 mg/L 以下	別表第14 パージトラップ-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
30	ブロモホルム	0.09 mg/L 以下	別表第14 パージトラップ-ガスクロマトグラフ質量分析計による一斉分析法
31	ホルムアルデヒド	0.08 mg/L 以下	別表第19の2 誘導体化-高速液体クロマトグラフ法
32	亜鉛及びその化合物	1.0 mg/L 以下	別表第5 誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析
33	アルミニウム及びその化合物	0.2 mg/L 以下	別表第6 誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析
34	鉄及びその化合物	0.3 mg/L 以下	別表第5 誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析
35	銅及びその化合物	1.0 mg/L 以下	別表第5 誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析
36	ナトリウム及びその化合物	200 mg/L 以下	別表第20 イオンクロマトグラフ(陽イオン)による一斉分析法
37	マンガン及びその化合物	0.05 mg/L 以下	別表第5 誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析
38	塩化物イオン	200 mg/L 以下	別表第13 イオンクロマトグラフ(陰イオン)による一斉分析法
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300 mg/L 以下	別表第20 イオンクロマトグラフ(陽イオン)による一斉分析法
40	蒸発残留物	500 mg/L 以下	別表第23 重量法
41	陰イオン界面活性剤	0.2 mg/L 以下	別表第24の2 液体クロマトグラフ質量分析法
42	ジェオスミン	0.00001 mg/L 以下	別表第25 パージトラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001 mg/L 以下	別表第25 パージトラップ-ガスクロマトグラフ質量分析法
44	非イオン界面活性剤	0.02 mg/L 以下	別表第28の2 固相抽出-高速液体クロマトグラフ法
45	フェノール類	0.005 mg/L 以下	別表第29の1 固相抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ質量分析法
46	有機物(全有機炭素TOCの量)	3 mg/L 以下	別表第30 全有機炭素計測定法
47	pH値	5.8以上 8.6以下	別表第31 ガラス電極法
48	味	異常でないこと	別表第33 官能法
49	臭気	異常でないこと	別表第34 官能法
50	色度	5 度 以下	別表第36 透過光測定法
51	濁度	2 度 以下	別表第41 積分球式光電光度法

水質検査結果表

2025年9月18日

秩父別町長 澁谷 信人 様

秩父別町簡易水道

採水場所：秩父別町役場 給水栓

採水者：秩父別町役場建設課 吉田 悟

採水日時：9月10日 10時30分

天 候：晴れ

試料の運搬：日本衛生(株)、車両

試験目的：簡易水道水質検査

検査日時：9月10日 17時00分 ～ 9月17日 10時00分

国土交通省・環境省 登録番号 第165号

札幌市清田区平岡1条1丁目1番40号

電話 代表(011)888-0122 Fax(011)888-0414

日本衛生株式会社

代表取締役 山本 秀雄

気 温： 25 ℃

水 温： 18 ℃

残留塩素： 0.47 mg/L

2025年9月10日に受託した上記試料の検査結果は次のとおりです。

検 査 項 目		目 標 値	検 査 結 果	
アンチモン及びその化合物		0.02 mg/L 以下	-	mg/L
ウラン及びその化合物		0.002 mg/L 以下(暫定)	-	mg/L
ニッケル及びその化合物		0.02 mg/L 以下	-	mg/L
1. 2-ジクロロエタン		0.004 mg/L 以下	-	mg/L
トルエン		0.4 mg/L 以下	-	mg/L
フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)		0.08 mg/L 以下	-	mg/L
亜塩素酸		0.6 mg/L 以下	-	mg/L
二酸化塩素		0.6 mg/L 以下	-	mg/L
ジクロロアセトニトリル		0.01 mg/L 以下(暫定)	-	mg/L
抱水クロラール		0.02 mg/L 以下(暫定)	-	mg/L
農薬類		1 以下	-	
残留塩素		1 mg/L 以下	-	mg/L
カルシウム、マグネシウム等(硬度)		10mg/L以上 100mg/L以下	-	mg/L
マンガン及びその化合物		0.01 mg/L 以下	-	mg/L
遊離炭酸		20 mg/L 以下	-	mg/L
1. 1. 1-トリクロロエタン		0.3 mg/L 以下	-	mg/L
メチル-tert-ブチルエーテル		0.02 mg/L 以下	-	mg/L
有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)		3 mg/L 以下	-	mg/L
臭気強度(TON)		3 以下	-	
蒸発残留物		30mg/L以上 200mg/L以下	-	mg/L
濁度		1 度 以下	-	度
pH値		7.5 程度	-	
腐食性(ランゲリア指数)		-1程度以上とし、極力0に近づける	-	
従属栄養細菌		2000 CFU/mL 以下(暫定)	-	CFU/mL
1. 1-ジクロロエチレン		0.1 mg/L 以下	-	mg/L
アルミニウム及びその化合物		0.1 mg/L 以下	-	mg/L
ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)		0.00005 mg/L 以下(暫定)	< 0.000005	mg/L
備考				
水質検査部門責任者：藤田 哲哉				

評 価 書

9月の検査結果は別紙「水質検査結果表」の通りです。問題となる項目はなく、特徴は以下の通りです。

「浄水検査」

残留塩素は 0.47mg/L 確保されており、一般細菌、大腸菌ともに不検出でした。

カドミウム等の有害金属類やシアン、揮発性有機化合物等の有害物質は、全て基準値の 10.0%以下でした。

消毒副生成物質においては、塩素酸、総トリハロメタン、ブロモジクロロメタンが検出された以外は、全て基準値の 10.0%以下でした。

なお、塩素酸は 0.07mg/L と基準値の 11.7%、総トリハロメタンは 0.0106mg/L と基準値の 10.6%、ブロモジクロロメタンが 0.0040mg/L と基準値の 13.3%検出されました。

塩素酸に関しては、生成の主な原因が、消毒に使用する次亜塩素酸ナトリウムに起因していますので、次亜塩素酸ナトリウムの使用・保管状況の確認(小ロットでの購入及び冷暗所保管、短期間での使用等)が必要と思われます。

洗剤の成分である陰イオン界面活性剤、非イオン界面活性剤、異臭味物質であるフェノール類及びカビ臭物質であるジェオスミン、2・メチルイソボルネオールは、全て基準値の 10.0%以下でした。

塩化物イオンは 12.5mg/L とほぼ一般的な範疇であり、水質汚染の可能性はありません。

その他の物質では、蒸発残留物質が 51mg/L と基準値の 10.2%検出されました。

有機物(TOC)は 0.9mg/L と基準値の 30.0%検出されました。

pH は 7.1 とほぼ中性でした。

味や臭気に異常はありませんでした。

色度及び濁度はともに基準値の 10.0%以下でした。

水質管理目標設定項目である PFOS 及び PFOA は、目標値の 10.0%以下でした。

